

口永良部島の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

本日（28日）、気象庁機動調査班（JMA-MOT）が第十管区海上保安本部の協力を得て、京都大学と合同で実施した上空からの観測では、口永良部島新岳火口及びその周辺で特段の変化は認められませんでした。

火山性地震は昨日（27日）が75回、本日（28日）は17時までに21回（速報値）発生しました。

口永良部島では、火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続中です。

引き続き、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。火口から1km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

○ 活動概況

・新岳火口周辺の状況（図2、図3）

本日（28日）、気象庁機動調査班（JMA-MOT）が第十管区海上保安本部の協力を得て、京都大学と合同で実施した上空からの観測では、口永良部島新岳火口及びその周辺で特段の変化は認められませんでした。

・地震活動（図1）

火山性地震は、昨日（27日）が75回、本日（28日）は17時までに21回発生しました。振幅の小さな火山性微動が本日17時までに1回発生しました。

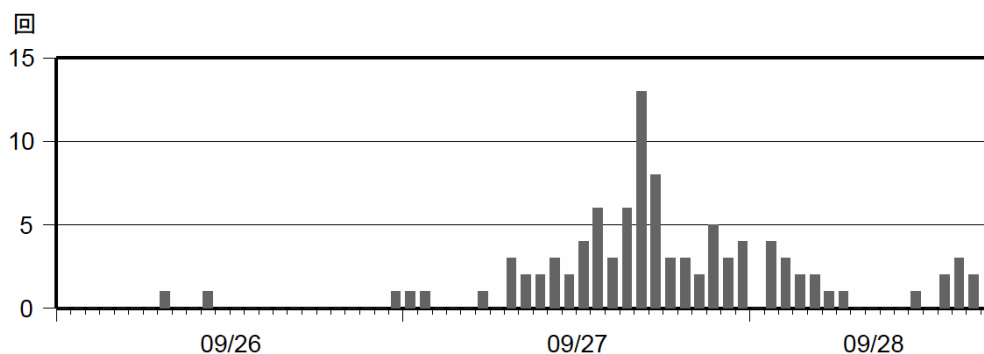
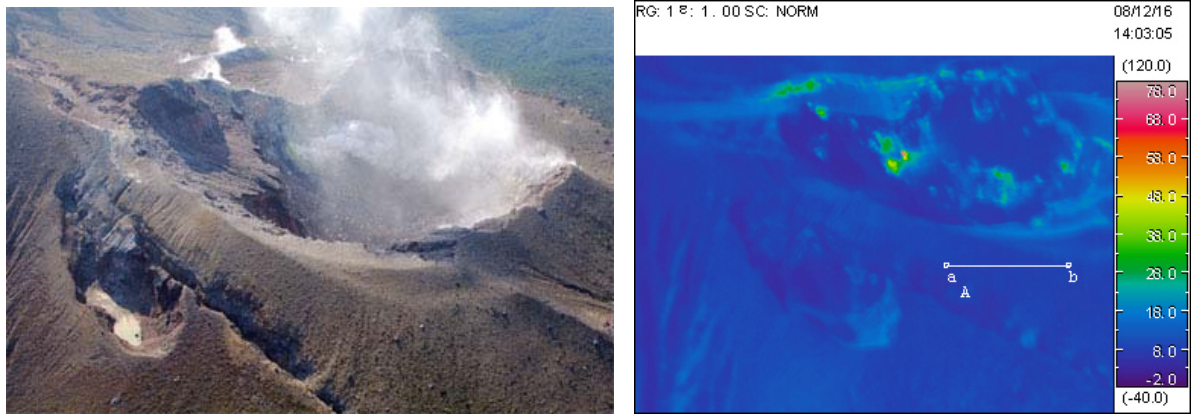


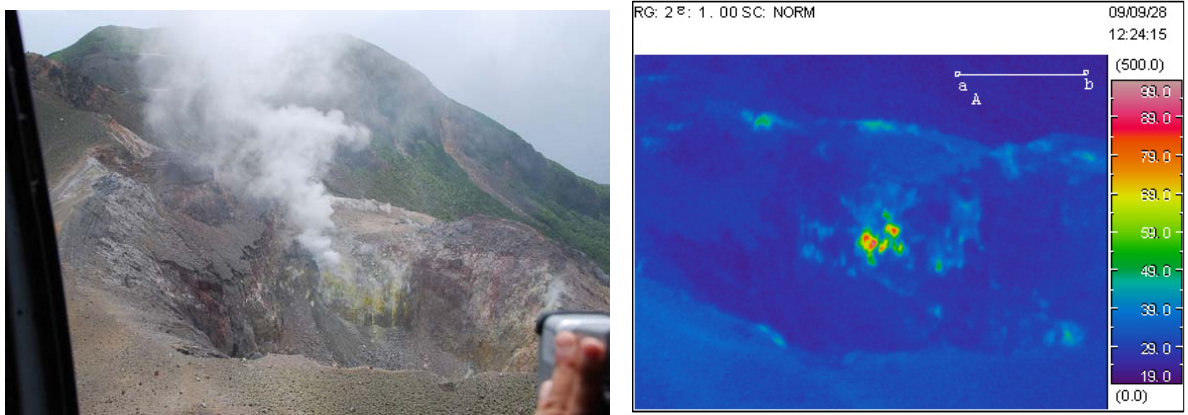
図1 口永良部島 火山性地震の特別発生回数（2009年9月26日～28日17時）

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平20業使、第385号）。



口永良部島新岳火口周辺（北北東側からの可視画像と熱画像）2008年12月16日撮影
海上自衛隊鹿屋航空分遣隊の協力による



口永良部島新岳火口周辺（北北東側からの可視画像と熱画像）2009年9月28日撮影
第十管区海上保安本部の協力による

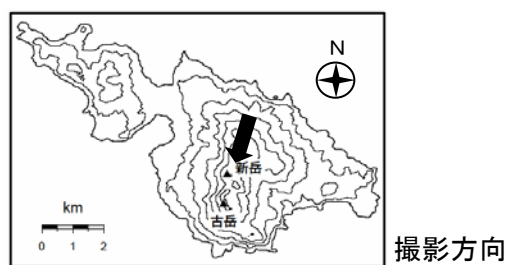


図2 口永良部島 上空から撮影した可視画像と熱映像の比較
新たな熱異常域の拡がりなどは認められませんでした。

熱画像は図中のライン A 上の平均温度から温度表示レンジを調整しています。



図3 口永良部島 上空から撮影した可視画像 2009年9月28日撮影
(上段：南西側から撮影 下段：北側から撮影)
新岳南側火口壁で白色の噴煙を観測しました。
なお新岳火口周辺では新たな噴気は確認されませんでした。
第十管区海上保安本部の協力による